

コープみえ 総代通信

2020年10月12日号

編集・発行：機関運営部 機関運営課
Phone：059-271-8502
Fax：059-222-5025
Mail：<https://www.coop-mie.jp/form-soudai>
(総代専用お問い合わせフォーム)



1年間、よろしくお祈いします！

日頃より生協活動へ参加いただき、ありがとうございます。
2020年度総代を担っていただく500名のみなさま、1年間どうぞよろしくお祈いいたします。
任期は、2020年10月1日から2021年9月30日までです。

■総代懇談会を開催します

総代懇談会は、総代のみなさんから意見や質問を出していただく第1回目の会です。これまでは各地域の会場に出席して懇談していただいていたのですが、今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のために、リモートでの参加も選んでいただくことができます。開催の日程、参加方法など詳しくは別紙『総代懇談会のご案内』をご覧ください。



理事長より ご挨拶

“コロナと生協 組合員の声を事業に”

総代のみなさま、今年1年よろしくお祈いいたします。
コロナ感染の不安が広がるなかで、生協ではこれまでにない利用結集があり、限界を超えていた物流を機能させるために、計画欠品や抽選によるお届けの制限をせざるを得ず、組合員のみなさまにはご迷惑をおかけする結果となりました。
それでも「生協が命綱」と言われる組合員も少なくなく、あらためてみんなが力をあわせて暮らしを守る生協としての役割の大きさを実感しており、そして組合員一人ひとりの声を事業に活かしていくことこそ、コロナに打ち勝つ希望につながるのではないかと考えています。集まっての意見交換など難しい時期ですが、総代のみなさまの意見を大切にしていきたいと思ひます。

コープみえ 理事長
鈴木 稔彦



「コロナ禍への支援に」

三重県、三重大学、ユニセフ、赤い羽根募金へ寄付を行います

新型コロナウイルス感染症の拡大により私たちの暮らしにも大きな不安が広がっているなか、コープみえの事業はその不安に応える事業として組合員や市民の支持を受け、事業は大きく伸長しています。消費者団体である私たちコープみえは、地域社会への貢献も大切な社会的役割として考えており、事業計画を大きく上回っている事業の利益の一部を社会に還元していきます。今後も組合員の暮らしに寄り添い、地域で必要とされる生協であるために、地域や諸団体と連携し協力し地域に根差した事業活動を展開していきます。

《寄付先》

- 三重県「新型コロナ克服 みえ支え“愛”募金」1,000万円
 - ・医療に関わる経費
 - ・子どもたちや学生、障がい者、外国人等の福祉関連の費用
- 「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学生支援事業」三重大学振興基金 300万円
- ユニセフ「新型コロナウイルス感染症緊急募金」100万円
- 赤い羽根共同募金 県内29市町（1市町当たり10万円）総額290万円
 - ・地域の社会福祉協議会の福祉事業に活用



▲▼▲▼▲ 第2四半期決算の報告 ▲▼▲▼▲

(自2020年6月21日 至2020年9月20日) 千円未満切捨

	実績	予算	計画比	前年	前年比	説明
供給高合計	58億2,027万8千円	48億8,511万3千円	119.1%	49億1,795万7千円	118.3%	宅配、店舗、カタログ及びギフト、夕食宅配の供給高合計
経常剰余金	2億4,586万7千円	2,388万9千円	1029.2%	4,157万3千円	591.4%	事業剰余金と事業外収益から事業外費用を引いた残りの剰余金
仲間づくり	2,537名	2,884名	88.0%	2,203名	115.2%	新規加入組合員数

▲▼▲▼▲ 2020年9月までにすすめてきたこと ▲▼▲▼▲

2020年第18回通常総代会で可決された議案に基づいてすすめていることを報告します。

《宅配事業》

7月1週の商品案内書から、商品の写真と文字を大きくし、単品とケース企画の注文番号欄の改善などを行いました。「老眼なので字が見やすくなった」などの声をいただいています。

《地域社会づくり》

生活困窮者支援の協定に基づき、社会福祉協議会を通じて食糧支援を行いました。
・7月 鳥羽市社会福祉協議会
・8月 尾鷲市社会福祉協議会



《広報・広聴》

従来の媒体に加えて、SNSでの情報発信をすすめています。



「おうちで生協キッチン」をYouTubeで配信中です。以下の二次元コードからご覧ください。

